

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	蛋白質連結反応による二重特異性抗体医薬品作製法に関する研究開発
代表機関名	国立大学法人山形大学
研究開発代表者名	真壁 幸樹

総合評価：優れている

【評価コメント】

蛋白質連結反応による二重特異性抗体の開発を目指し、計画通りに成果が着実に得られた。他の抗体にも応用可能性が期待できる基盤技術として評価できる。

ただし、二重特異性抗体作製における課題として挙げた、収率の低さや製造コスト、小型化した際の安定性は、未解消の部分が残されており、特に収率向上等の製造法改善に向けた課題解決を進めていただきたい。また、抗体量が十分確保できていないために観察できなかった二重特異性抗体の *in vivo* 抗腫瘍活性については、今後検討し、本技術の優位性を明らかにすることを望む。血中動態や腫瘍組織移行性の改善、安全性の課題等も含め、創薬に向けて、さらなる検討を進めることを望む。同様の技術開発が海外で進んでいる状況も考慮し、国際雑誌に発表することも含め国際的競争力も担保するとともに、企業とも連携し、実用化に向けて取り組むことを期待する。

以上